

現行							改定							備考
3-2 バックホウの作業能力 (1) 日当り施工量 バックホウによる各作業の日当り施工量は、次表を標準とする。 表 3.4 日当り施工量 (1日当り)							3-2 バックホウの作業能力 (1) 日当り施工量 バックホウによる各作業の日当り施工量は、次表を標準とする。 表 3.4 日当り施工量 (1日当り)							
作業の種類	名称	規格	土質名	単位	数量		作業の種類	名称	規格	土質名	単位	数量		
					障害なし	障害あり						障害なし	障害あり	
地山の掘削積込	バックホウ	排出ガス対策型 (第2次基準値)・クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土	m ³	270	171	地山の掘削積込	バックホウ	排出ガス対策型 (第2次基準値)・クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土	m ³	240	152	
			岩塊・玉石	"	207	126				岩塊・玉石	"	184	112	
	運 転	排出ガス対策型 (第1次基準値)・クローラ型 山積1.4m ³ (平積1.0m ³)	レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土	"	450	288	運 転	排出ガス対策型 (第1次基準値)・クローラ型 山積1.4m ³ (平積1.0m ³)	レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土	"	400	256		
			岩塊・玉石	"	369	234			岩塊・玉石	"	328	208		
ルーズな状態の積込み	バックホウ	排出ガス対策型 (第2次基準値)・クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土	"	279		ルーズな状態の積込み	バックホウ	排出ガス対策型 (第2次基準値)・クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土	"	248		
			岩塊・玉石, 岩(破碎)	"	234					岩塊・玉石, 岩(破碎)	"	208		
	運 転	排出ガス対策型 (第1次基準値)・クローラ型 山積1.4m ³ (平積1.0m ³)	レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土	"	468		運 転	排出ガス対策型 (第1次基準値)・クローラ型 山積1.4m ³ (平積1.0m ³)	レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土	"	416			
			岩塊・玉石, 岩(破碎)	"	396				岩塊・玉石, 岩(破碎)	"	352			
床掘り(作業土工)	バックホウ	排出ガス対策型 (第2次基準値)・クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土	"	220	180	床掘り(作業土工)	バックホウ	排出ガス対策型 (第2次基準値)・クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土	"	220	180	
			岩塊・玉石	"	160	130				岩塊・玉石	"	160	130	
	運 転	排出ガス対策型 (第1次基準値)・クローラ型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土	"	150	100	運 転	排出ガス対策型 (第1次基準値)・クローラ型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	レキ質土, 砂・砂質土, 粘性土	"	150	100		
			岩塊・玉石	"	110	70			岩塊・玉石	"	110	70		
(注)現場条件の内容 1. 地山の掘削積込 障害なし: 構造物及び建造物等の障害物や交通の影響により施工条件が制限されなく、連続掘削作業ができる場合。 障害あり: 掘削作業において障害物等により施工条件に制限があり(例えば作業障害が多い場合)、連続掘削作業ができない場合。 2. 床掘り(作業土工) 障害なし: ① 構造物及び建造物等の障害物や交通の影響により施工条件が制限されないオープン掘削の場合。 ② 構造物及び建造物等の障害物や交通の影響により施工条件が制限されない矢板のみの土留・仮締切工掘削の場合。 障害あり: ① 床掘作業において障害物等により施工条件に制限がある場合(例えば作業障害が多い場合)。 ② 土留・仮締切工の中に、切梁・腹起し又は基礎杭等の障害物がある場合。 3. 掘削箇所が地下水位等で排水をせず水中掘削作業(溝掘り、基礎掘削、床掘り)を行う場合は障害ありを適用する。 4. 軟岩をリッピングしたものは、リッピング後の状態を考慮し、その状態に応じた土質をとる。 5. 「第2編第1章②-2機械土工(岩石)」における床掘平均掘削幅2m未満の場合の破砕片除去及び積込みは、ルーズな状態の積込みのバックホウ山積0.45m ³ (平積0.35m ³)を適用する。							(注)現場条件の内容 1. 地山の掘削積込 障害なし: 構造物及び建造物等の障害物や交通の影響により施工条件が制限されなく、連続掘削作業ができる場合。 障害あり: 掘削作業において障害物等により施工条件に制限があり(例えば作業障害が多い場合)、連続掘削作業ができない場合。 2. 床掘り(作業土工) 障害なし: ① 構造物及び建造物等の障害物や交通の影響により施工条件が制限されないオープン掘削の場合。 ② 構造物及び建造物等の障害物や交通の影響により施工条件が制限されない矢板のみの土留・仮締切工掘削の場合。 障害あり: ① 床掘作業において障害物等により施工条件に制限がある場合(例えば作業障害が多い場合)。 ② 土留・仮締切工の中に、切梁・腹起し又は基礎杭等の障害物がある場合。 3. 掘削箇所が地下水位等で排水をせず水中掘削作業(溝掘り、基礎掘削、床掘り)を行う場合は障害ありを適用する。 4. 軟岩をリッピングしたものは、リッピング後の状態を考慮し、その状態に応じた土質をとる。 5. 「第2編第1章②-2機械土工(岩石)」における床掘平均掘削幅2m未満の場合の破砕片除去及び積込みは、ルーズな状態の積込みのバックホウ山積0.45m ³ (平積0.35m ³)を適用する。							

現行					改定					備 考			
3. 各作業の施工歩掛 3-1 日当り施工量 各作業の日当り施工量は、次表を標準とする。					3. 各作業の施工歩掛 3-1 日当り施工量 各作業の日当り施工量は、次表を標準とする。								
表3.1 各作業の日当り施工量 (1日当り)					表3.1 各作業の日当り施工量 (1日当り)								
作 業	工 種	機 種	規 格	単 位	作 業 条 件		作 業	工 種	機 種	規 格	単 位	作 業 条 件	
					標 準	障 害 有 り						標 準	障 害 有 り
敷均し・ 縮固め	敷均し	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級	m ³	621	315	敷均し・ 縮固め	敷均し	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級	m ³	552	280
			排出ガス対策型(第1次基準値) 普通21t級		882	513				排出ガス対策型(第1次基準値) 普通21t級		784	456
			排出ガス対策型(第1次基準値) 湿地16t級		504	315				排出ガス対策型(第1次基準値) 湿地16t級		448	280
			排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級		486	252				排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級		432	224
	縮固め	タイヤローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 8~20t	m ³	1197	504		縮固め	タイヤローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 8~20t	m ³	1064	448
			排出ガス対策型(第1次基準値) 普通21t級		693	405				排出ガス対策型(第1次基準値) 普通21t級		616	360
敷均し 縮固め	路体・築堤	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級	m ³	369	171	敷均し 縮固め	路体・築堤	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級	m ³	328	152
			排出ガス対策型(第1次基準値) 普通21t級		540	225				排出ガス対策型(第1次基準値) 普通21t級		480	200
			排出ガス対策型(第1次基準値) 湿地16t級		306	144				排出ガス対策型(第1次基準値) 湿地16t級		272	128
			排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級		216	117				排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級		192	104
	路床	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通21t級	m ³	324	135		路床	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通21t級	m ³	288	120

(注)1. 作業条件は次の諸条件を考慮し、選択するものとする。
 標準: 作業現場が広く、かつ作業障害が少ない場合
 (例えば基本施設の新設改良工事)
 障害あり: 作業現場が狭い、または作業障害が多い場合
 (例えば基本施設の拡幅工事で作業障害が多い工事)

2. 上表は、縮固め後の土量である。

(注)1. 作業条件は次の諸条件を考慮し、選択するものとする。
 標準: 作業現場が広く、かつ作業障害が少ない場合
 (例えば基本施設の新設改良工事)
 障害あり: 作業現場が狭い、または作業障害が多い場合
 (例えば基本施設の拡幅工事で作業障害が多い工事)

2. 上表は、縮固め後の土量である。

3-2 補助労務
 機械による敷均し及び敷均し縮固め作業の補助として、次表を計上する。

表3.2 機械補助労務 (100m³当り)

作 業	工 種	名 称	単 位	数 量
敷均し・敷均し縮固め	路体・築堤	普通作業員	人	0.22
	路 床	普通作業員	人	0.33

3-2 補助労務
 機械による敷均し及び敷均し縮固め作業の補助として、次表を計上する。

表3.2 機械補助労務 (100m³当り)

作 業	工 種	名 称	単 位	数 量
敷均し・敷均し縮固め	路体・築堤	普通作業員	人	0.25
	路 床	普通作業員	人	0.38

現行	改定	備 考																																																																																																				
<p>4. 狭隘な箇所の施工歩掛</p> <p>4-1 適用範囲 路体・路床・築堤等の工事において、施工幅員が4m未満の狭隘箇所の作業で標準機種では施工が困難な場合に適用する機種・規格は次表のとおりとする。</p> <p style="text-align: center;">表4.1 機種の選定</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>作業</th> <th>施工幅員(W)</th> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">敷均し</td> <td>2.5m ≤ W < 4.0m</td> <td>ブルドーザ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 普通 3t級</td> </tr> <tr> <td>W < 2.5m</td> <td>人力土工</td> <td>「第1章 土工⑥-1人力土工(土砂)」 3-5人力盛土(埋戻し)による</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">締固め</td> <td>1.0m ≤ W < 4.0m</td> <td>振動ローラ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型 3~4t</td> </tr> <tr> <td>W < 1.0m</td> <td>振動ローラ</td> <td>ハンドガイド式 0.8~1.1t</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注)1. 上表により難い場合は別途考慮する。 2. 振動ローラは賃料とする。</p> <p>4-2 日当り作業量 各作業の日当り作業量は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.2 敷均し作業の日当り作業量 (1日当り)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>作業</th> <th>工 種</th> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>敷均し</td> <td>路体・路床・築堤等</td> <td>ブルドーザ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 普通 3t級</td> <td>m³</td> <td style="text-align: center;">117</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注)敷均し作業の仕上り厚さは0.2~0.3mとする。</p> <p style="text-align: center;">表4.3 締固め作業の日当り作業量 (1日当り)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>作業</th> <th>締固め度期待値</th> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">締固め</td> <td rowspan="2">路床並</td> <td rowspan="2">振動ローラ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型 3~4t</td> <td>m³</td> <td style="text-align: center;">90</td> </tr> <tr> <td>ハンドガイド式 0.8~1.1t</td> <td>〃</td> <td style="text-align: center;">50</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">路体・築堤等</td> <td rowspan="2">振動ローラ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型 3~4t</td> <td>〃</td> <td style="text-align: center;">108</td> </tr> <tr> <td>ハンドガイド式 0.8~1.1t</td> <td>〃</td> <td style="text-align: center;">63</td> </tr> </tbody> </table> <p>4-3 補助労務 敷均し作業の補助労務は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.4 機械補助労務 (100m³当り)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通作業員</td> <td>人</td> <td style="text-align: center;">0.33</td> </tr> </tbody> </table>	作業	施工幅員(W)	機 械 名	規 格	敷均し	2.5m ≤ W < 4.0m	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通 3t級	W < 2.5m	人力土工	「第1章 土工⑥-1人力土工(土砂)」 3-5人力盛土(埋戻し)による	締固め	1.0m ≤ W < 4.0m	振動ローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型 3~4t	W < 1.0m	振動ローラ	ハンドガイド式 0.8~1.1t	作業	工 種	機 械 名	規 格	単位	数量	敷均し	路体・路床・築堤等	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通 3t級	m ³	117	作業	締固め度期待値	機 械 名	規 格	単位	数量	締固め	路床並	振動ローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型 3~4t	m ³	90	ハンドガイド式 0.8~1.1t	〃	50	路体・築堤等	振動ローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型 3~4t	〃	108	ハンドガイド式 0.8~1.1t	〃	63	名 称	単 位	数 量	普通作業員	人	0.33	<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p>4-2 日当り作業量 各作業の日当り作業量は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.2 敷均し作業の日当り作業量 (1日当り)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>作業</th> <th>工 種</th> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>敷均し</td> <td>路体・路床・築堤等</td> <td>ブルドーザ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 普通 3t級</td> <td>m³</td> <td style="text-align: center;">104</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注)敷均し作業の仕上り厚さは0.2~0.3mとする。</p> <p style="text-align: center;">表4.3 締固め作業の日当り作業量 (1日当り)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>作業</th> <th>締固め度期待値</th> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">締固め</td> <td rowspan="2">路床並</td> <td rowspan="2">振動ローラ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型 3~4t</td> <td>m³</td> <td style="text-align: center;">80</td> </tr> <tr> <td>ハンドガイド式 0.8~1.1t</td> <td>〃</td> <td style="text-align: center;">44</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">路体・築堤等</td> <td rowspan="2">振動ローラ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型 3~4t</td> <td>〃</td> <td style="text-align: center;">96</td> </tr> <tr> <td>ハンドガイド式 0.8~1.1t</td> <td>〃</td> <td style="text-align: center;">56</td> </tr> </tbody> </table> <p>4-3 補助労務 敷均し作業の補助労務は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.4 機械補助労務 (100m³当り)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通作業員</td> <td>人</td> <td style="text-align: center;">0.38</td> </tr> </tbody> </table>	作業	工 種	機 械 名	規 格	単位	数量	敷均し	路体・路床・築堤等	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通 3t級	m ³	104	作業	締固め度期待値	機 械 名	規 格	単位	数量	締固め	路床並	振動ローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型 3~4t	m ³	80	ハンドガイド式 0.8~1.1t	〃	44	路体・築堤等	振動ローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型 3~4t	〃	96	ハンドガイド式 0.8~1.1t	〃	56	名 称	単 位	数 量	普通作業員	人	0.38	
作業	施工幅員(W)	機 械 名	規 格																																																																																																			
敷均し	2.5m ≤ W < 4.0m	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通 3t級																																																																																																			
	W < 2.5m	人力土工	「第1章 土工⑥-1人力土工(土砂)」 3-5人力盛土(埋戻し)による																																																																																																			
締固め	1.0m ≤ W < 4.0m	振動ローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型 3~4t																																																																																																			
	W < 1.0m	振動ローラ	ハンドガイド式 0.8~1.1t																																																																																																			
作業	工 種	機 械 名	規 格	単位	数量																																																																																																	
敷均し	路体・路床・築堤等	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通 3t級	m ³	117																																																																																																	
作業	締固め度期待値	機 械 名	規 格	単位	数量																																																																																																	
締固め	路床並	振動ローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型 3~4t	m ³	90																																																																																																	
			ハンドガイド式 0.8~1.1t	〃	50																																																																																																	
	路体・築堤等	振動ローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型 3~4t	〃	108																																																																																																	
			ハンドガイド式 0.8~1.1t	〃	63																																																																																																	
名 称	単 位	数 量																																																																																																				
普通作業員	人	0.33																																																																																																				
作業	工 種	機 械 名	規 格	単位	数量																																																																																																	
敷均し	路体・路床・築堤等	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通 3t級	m ³	104																																																																																																	
作業	締固め度期待値	機 械 名	規 格	単位	数量																																																																																																	
締固め	路床並	振動ローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型 3~4t	m ³	80																																																																																																	
			ハンドガイド式 0.8~1.1t	〃	44																																																																																																	
	路体・築堤等	振動ローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型 3~4t	〃	96																																																																																																	
			ハンドガイド式 0.8~1.1t	〃	56																																																																																																	
名 称	単 位	数 量																																																																																																				
普通作業員	人	0.38																																																																																																				